

城南衛生管理組合
管理者 松村淳子殿

2021年度：城南衛生管理組合
環境マネジメントシステム 外部評価報告書

2021年12月22日

外部評価員
芦原昇 吉田康夫
(文責:吉田)

外部評価実施日 • 2021年12月21日－22日
外部評価実施サイト • 本庁 • クリーンパーク折居 • グリーンヒル三郷山
 • クリーンピア沢 • EMS事務局

【総合評価】

以下の項目の評価により、城南衛生管理組合環境マネジメントシステムは「組織にとって適切であり、運用は妥当であり、意図した目標に対し有効である」と判断します。

【総括】

1. システムの運用

今回の外部評価は「2021年4月1日付：城南衛生管理組合環境マネジメントシステム運用マニュアル第4版」（以下、マニュアルと表記）に基づいて実施しました。

「環境側面の抽出／影響評価→著しい環境側面の決定」に基づいて活動の展開（目標・維持管理・中長期計画・緊急事態その他）が行われています。目標の設定及び取組、順守評価、内部監査、緊急事態への準備及び対応等は適切に実施されています。

2. マネジメントレビュー

2021年5月26日に専任副管理者、事業部長、施設部長、環境管理責任者によるマネジメントレビューが行われています。マネジメントレビューでは「内部環境監査、外部評価、環境方針、環境目的及び目標、順守評価他」の報告に基づいて質疑応答が行われ、2021年5月28日「専任副管理者の指示事項」が示されています。

質疑応答では「2030年温室効果ガス46%削減目標」に向けて、取組み事例をあげ達成へのシュミレーションの検討やエコオフィス活動の見直し等の要請が出ています。又、SDGsの視点からも「入札制度における総合評価方式」の検討も要請されています。

3. 専任副管理者の指示事項

温室効果ガス削減に対する強いメッセージが込められています。

- エコオフィス活動の更なる徹底
- 個々の意識向上：環境に関する先進的知識を身につける、SDGsを「自分ごと」としてとらえた活動を行う。

- ・入札時：環境認証やSDGsの取組みを選定要件とすることの検討。
- ・2030年温室効果ガス排出量46%削減：バックキャストの発想で検討すること。

<トップインタビュー>

「焼却からのCO2排出削減に対する新技術の検討：[CO2+水素⇒高濃度メタン（燃料）⇒燃焼⇒CO2]」や全員のモチベーションとして「組合におけるCO2削減取組みを外部機関や構成市町等への情報の発信を図る」等のコミットメントがありました。

【特記事項】

1. 2021年2月26日：京都府知事より「温室効果ガスの削減取組に対する表彰状」を授与されました。
2. 来年度、サントリー社への「空ペットボトル」の提供について協定。
ペットボトルへの繰り返しリサイクルによる「CO2削減効果」を期待。
3. 新設クリーンパーク折居のCO2排出量（灯油等含む）の推移

	2013年度	2017年度	2020年度	全体に占める 2020年の割合
CO2排出量	16890t - CO2	20045t-CO2	10648t-CO2	約30%
ゴミ処理量	36730t	36532t	31793t	2013年比
CO2 t / ゴミ処理 t	0.46t-CO2	0.54t-CO2	0.33t-CO2	約37%の削減
	買電使用量		施設使用電力	
組合全体のCO2	49395t	45594t	35694t	

【主要項目の評価】

1. 計画：目標の管理

目標の設定には3つの枠組みが示されています。

「組織全体の共通目標（省エネ、省資源、ごみ排出）」「安心・安全な施設運営」「各サイトごとの目標（循環型社会、低炭素社会の構築をめざす）」があります。

2020年度の目標達成状況

- ・組織全体の共通目標 : 8件 ⇒ 達成 3件 達成率 38 %
- ・安心・安全な施設運営目標 : 8件 ⇒ 達成 6件 達成率 75%
- ・サイトごとの目標 : 11件 ⇒ 達成 8件 達成率 73%

2. 法的及びその他要求事項

事務局にて作成された「環境関連法規制登録等一覧」では該当法令及び対象サイトが指定されています。対象サイトでは「法的要求事項等一覧兼順守報告」が作成され、該当月に要求事項を実施し記録しています。半期ごとに同報告をEMS事務局に提出し事務局で確認しています。

直近：2021年上期実施の順守評価では「不順守」はありませんでした。

4. 内部監査

直近の実施状況2021年7月26日～8月4日 監査員10名（登録監査員41名）

内部監査対象 ・施設：7 ・本庁：3 ・EMS事務局

内部監査チェックシートを使用してきめ細かな監査を展開しています。

2019年 称賛事項：14件、要望事項：11件、観察事項：5件、不適合：0件

2020年 称賛事項：13件、要望事項：16件、観察事項：0件、不適合：0件

2021年 称賛事項：12件、要望事項：11件、観察事項：3件、不適合：1件

監査員の専門性を考慮された監査員の選定、監査員は自部門の監査を行わない等、監査における公平性、有効性が認められます。

4. 評価結果

(ア) 好取組事例（称賛）

a. 本庁

会計課：公用車の低公害化（EV自動車）の購入計画を策定されました。

業務課：サービス向上の一環として、住民からの支払方法の「キャッシュレス化」を推進しています。

総務課：Web会議を引き続き推進していきます。（省エネ、省資源）

b. クリーンパーク折居

シーケンス導入による「ヒューマンエラー」の低減効果があります。（排ガスの基準超過を防止）

新施設の開設に伴い「安全・安心」に繋がる基本的な教育を行ってきたが、業務能力の向上が図られています。

c. グリーンヒル三郷山

新しい埋め立て候補地探し等、中長期的課題に真摯に取り組まれている姿勢に期待を込めて称賛します。

d. クリーンピア沢

減少し続けるし尿、組織運営が難しい中で希釈倍率をさらに厳しく決定されている姿勢、内部監査でも称賛事項として取り上げられています。

(イ) 要望事項

a. 順守評価

現行の仕組みは適切ですが、様式の運用について共通ルールの明示が必要かと思われまます。

例：順守評価報告書のスケジュール欄において、表示：○で実施予定を表し、実施後●表示にする。行を変えて、順守評価に問題がなければ○、不順守があれば△又は×の表示を行う。その他当該部門で必要な情報があれば行を替えて追記する。⇒内部監査では、同表からサンプリングで評価の内容を検証する。

b. 緊急事態

訓練は手順書に基づいて適切かつ効果的な運用が行われています。結果について

「消防訓練実施報告書」が作成されていますが、訓練の結果、手順書の見直しが必要ですので、同書式に項目を追加してください。（手順書の見直し：・否・要 ⇒要であれば内容を簡潔に記述する）

c. CO2削減：46%の取組

今年度、削減取組及び削減量とのシュミレーションを計画され、各部門に対しアンケートを実施されています。

次年度計画では、「取組内容と削減量予測／時系列」を含めた「2030年：46%削減ロードマップ」が作成されますよう期待しています。

以上